

まなびや

終戦直後の教科書

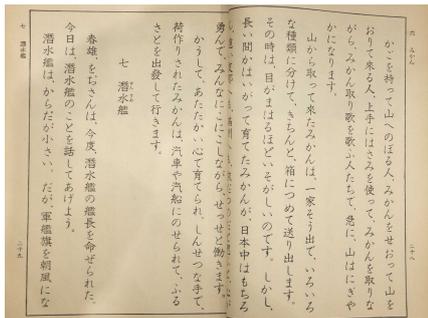
墨を塗られた教科書

戦後、連合国軍の占領下で文部省は、教科書の内容から軍事主義や国家神道の箇所を削除させる指示を出しました。子どもたちはその箇所を墨を塗ったり、切り取ったりして使いました。修身・歴史・地理の授業は停止され、教科書も回収されました。

昭和21年には暫定教科書が発行されましたが、物資も編集する時間も十分ではなく、

新聞用紙一枚に印刷された教科書を折りたたみ、子どもたち自身で製本して使用するものでした。ようやく、昭和22年度から小学校六年、中学校三年の学校制度が始まり、新しい教育内容に沿った教科書を使い始めました。

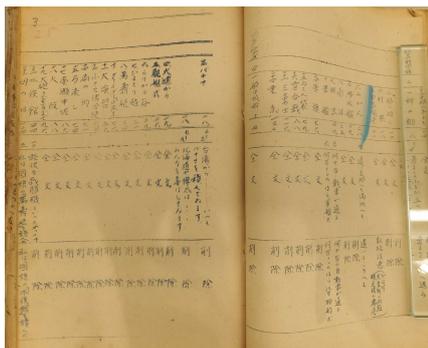
▼左墨塗教科書「展示室C」
国民学校三年生用
「初等科 国語 二」



墨塗【前】の教科書



墨塗【後】の教科書



※削除例…左二段目
六みかん 支那・満洲(削除)
七潜水艦 全文↓削除

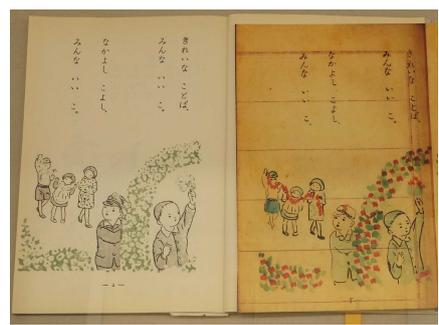
▼連合軍最高司令部ヨリ発スル指令綴一
削除すべき内容など、終戦後の文部省からの指示が具体的に示されています。(昭和20年栗野小学校所蔵)

手書き教科書

戦後の窮乏期にあつて、教科書は全員には渡らず、くじ引きに漏れた子供は、教科書を借りてきて親が手書きで用意していました。絵の得意なお父さんが主に挿絵を描いたり、文字はお父さんとお母さんが手分けしたりして、きちんと装丁された立派な本になっていた。



手書きの教科書



現物教科書と写本ページ

つていました。どのページを本物と比較しても、丁寧に書かれており、物資の乏しい時代、何かの裏紙や反故紙などを活用して、心を込めて作られています。展示室C「教科書の歴史」では、各年代の教科書を手に取って見ることが出来ます。●折りたたみ教科書、自由採択時代、検定制度下、国定他



くじらぐも (S46: 中川りえ子作)



ごんぎつね (S31: 新美南吉作)

ごんぎつね

お父さん・お母さんもご存じの「ごん、お前だったのか。いつも栗をくれたのは」ごんぎつね(新美南吉作)は昭和31年、くじらぐもは昭和46年から教科書に採用され、永く親しまれている教材です。♪展示室Bで朗読再生あります